

**The Japan Institute of
Architects Kyushu branch**

公益社団法人 日本建築家協会九州支部

2018

**BULLETIN
Kyushu
BRANCH**



九州で活躍する建築家のための情報誌

「JIA 建築展20」

講師：建築家 近藤哲雄 馬場兼信

日時：11月2日 金曜日 ～ 11月4日 日曜日、12月2日 日曜日

場所：北九州ハイツ、クラウンホテル北九州、港ハウス、JR門司港駅

参加人数：129名

毎年継続開催している建築展、今年は20回目の記念大会となりました。例年通り、前年のJIA新人賞を受賞された御2人(今年度は、近藤哲雄さん、馬場兼信さん)に講師を御願いました。全体は下記の4部で構成され、より大きな建築展となりました。又今年も各地(福岡会、宮崎会、鹿児島会)から応援に御越しいただき、ありがとうございました。

■日韓合同学生ワークショップ

今年も、日本と韓国から9大学65名の学生さんに参加いただきました。今年度は毎年共催していただいている北九州市が市制55周年という事もあり、未来志向の課題を。という要望で、市内の門司港レトロ地区の未来を日韓の学生達と一緒に考える事になり、「小さくて大きな都市計画」という課題で、取り組みました。

■セミナー

御2人の講師の先生に、最新の建築について伺う企画で、今年度は、近藤先生は「いくつかの形式、物事としての建築」、馬場先生は「建築と環境」というタイトルで御講演下さいました。

■JIA 建築展20回記念式典

これまでの建築展の開催に御尽力いただいた日韓の大学の先生方、行政、建賛会、九州支部の皆さんに参加いただき、共に御互いの健闘を称えながら、これまでの功績を振り返り、幣会からも皆様に感謝の気持ちを刻んだクリステルの盾を贈呈させていただきました。

■パネル展

今秋5年の歳月をかけた修復が終わったJR門司港駅で開催し、上記のWSの成果である模型やパネルを展示して、学生の提案を市民や観光客に見てもらった。



北福岡地域会例会(第5回)・建築展反省会・忘年会

日時：平成30年12月14日 金曜日 18:00-20:00

場所：東畑建築事務所他

参加人数：14名

■協議事項

来期の事業計画・予算、各種委員会、フェロー会員の推薦、建築塾、支部30周年記念誌、建築展の反省

■報告事項

会員動向、支部の新年部理事、支部大会、山芋会、池原トリュート



「賀詞交歓会」

日時：平成31年1月10日 木曜日 18:00~20:00
 場所：クラウンパレスホテル小倉
 参加人数：161名（内JIA会員23名）

北九州市の建築6団体（建築士会、建築士事務所協会、北九州建築設計監理協会、日本構造技術者協会、北九州設備設計監理協会、JIA）、及び行政、建賛会が、毎年、新年の賀詞交歓会を開催しています。今年も、例年のように開催され、皆で新年を祝うと同時に、建築業界の繁栄と、活動を確かめあった。



北福岡地域会役員会（第9回・第10回）

1月18日(金)に、第9回役員会を開催しました。

主な議題は、来期の事業計画と、収支予算案の説明と承認です。

来年度は、今期の延長で、撒いた種が成長して芽が出るよう、水をやり、肥料をやるように、育てて行く事を確かめ合った。

2月20日(水)に、第10回役員会を開催した。

主な議題は、直前の支部役員会で打診のあった、次の九州支部大会の開催を、幣会で受けるか否かを協議した。

協議の結果、会を挙げて、九州支部大会の成功に尽力する事になり、準備を進めて行く事になった。

「池原義郎トリビュート」

講師：入江正之（建築家 早稲田大学名誉教授）
 日時：平成31年1月12日 土曜日 10:00~17:30
 場所：西日本工業大学、クラウンパレス北九州、唐戸市場、他
 参加人数：見学会19名、講演会34名

北九州市は、一昨年他界された建築家 池原義郎氏の設計された建築が多数存在する国内でも稀有な地域です。又、北九州市内及び九州各地には、氏の教育を受けた会員も多数活躍しています。関係する多くの方々にお集まりいただき、氏の建築を共に体験しながら一番弟子であった入江正之先生を中心に、その建築は何であったかその教育理念はどこにあったのかを再度共に振り返り、今後の建築文化の向上に繋げると共に、氏を知らない若い学生や一般市民とも広くその価値を共有して地元の建築文化の向上を目的に開催した。前日は、国内外から生前の氏に関わる様々な立場の方々が参加され旧交を確かめ合い、同じ価値も共有する人の輪が広がった。



地域会長あいさつ

地域会長

佐々木 寿久

日頃よりJIA 活動にご理解頂きありがとうございます。地域会長就任から8 か月がたちました。総会での目標に掲げた運営方針を基にやってまいりましたが、私個人としまして達成できているもの、そうでは無いものとはやはり到達点はまだまだと思っています。達成できているものとしては、広報活動を活発に行いホームページの更新・ブルテンの発行、配信・など停滞していました事業を復活することができました。やはりこの広報というもの的重要性を改めて感じています。会員の皆様への情報の伝達や共有などスピードが増し、正確にお伝えすることができる点など満足度は高いです。未達成なものとしては、【技術の向上と幅広い知識】についてです。建築基準法改正や関係法令の勉強会などできることは大いにあると思っています。また協力会様の新技術の周知や勉強会も上記同様と感じています。この事を踏まえ、今後の運営に生かしていきたいです。

福岡地域会役員会 (第3回)

■日時：平成30年7月28日土曜日18：00-20：00

■参加人数：12名

■報告事項

会長報告

第2回役員会議事録確認

・全国大会の9月14日(金)に予定されている九州ナイトの会場について。

・福岡地域会の事業室と企画運営室の活動報告をまとめたフォーマットについて

事業室報告

・建築相談室：7月12日に建築相談定例会議を開催。参加者は6名。

・国際交流：6月15日～16日に光州建築士会との会議を釜山にて開催。福岡地域会からは6名参加。

・会員交流：四季の会の日程を検討する。

・災害対策：JIA災害対策支援ネットワークの福岡地域会担当は、佐々木地域会長、福田地域副会長、田中一樹地域副会長、村上地域副会長の4名とする。

・行政連絡：8月21日(火)に福岡建築行政研究会が開催される。

・協力会：8月6日(月)に協力会主催の納涼ポーリング大会を開催。

・福岡建築倶楽部：9月28日(金)にゴルフコンペを開催予定

・プロポーザルコンペ：8月25日(土)17時～18時30分にて福岡県弁護士会館の構造見学会を開催予定。

企画運営室報告

・広報：福岡地域会ブルテンの今年度初回発行の原稿を説明。ホームページの制作状況の報告。

・例会：6月例会を6月22日(金)7月例会を7月17日(金)8月例会は8月23日(木)に開催。

・住宅部会：来年2月に建築展も含めた企画を思案中

・福岡市都市景観賞：12/2～12/11にアジア美術館7階アートカフェで開催。

・デザインレビュー：7月2日(月)に新しい学生実行委員会との会議を開催。

その他

・JIA九州支部30周年記念誌の進捗状況報告。

■協議事項

1. JIA福岡地域会ホームページの構成について

2. JIA福岡地域会ブルテン発行について

3. 建築家賠償責任保険(ケンバイ)の説明会について。

■審議事項

1. 入退会について 準会員(ジュニア会員)の入会申し込みを承認

2. 老朽化によるプロジェクターの購入を承認

3. 9月の全国大会の交通費補助を承認

福岡地域会役員会 (第4回)

■日時：平成30年9月22日土曜日16：30-20：00

■参加人数：15名

■報告事項

会長

報告

・25年賞の選定委員を1名選出したい。報告内容は添付資料を確認願いたい

企画運営室報告

・次回地域会ブルテン発行について原稿の依頼をおこないたい

■協議事項

・九州支部30周年記念誌の件

・会員会費について

・JIA25周年賞の福岡地域会の選考委員について

■審議事項

1. 入退会について

2. 福岡地域会ホームページメンテナンス料について



9月22日定例会風景

福岡地域会役員会（第5回）

- 日時：平成30年11月10日土曜日18：00-20：00
- 参加人数：10名
- 報告事項
- 審議事項
- 1. 入退会について：協会の退会届を承認
- 2. その他：九州支部HPメンテナンス委託契約先変更を承認
- 協議事項
- 1. 九州支部30周年記念誌の件
- 2. 福岡地域会会員集会(11/20)の件
- 3. 九州支部報告メール版ブルテンの件
- 4. その他
 - ・光州市建築士会との交流20周年について
 - ・フレッシュマンセミナーが大阪で開催予定について報告事項
- 1. 会長報告
 - ・第4回役員会議事録確認
 - ・12月4日にJIAケンパイ保険の勉強会があるので参加してほしい。
 - ・今年度の国際交流助成金申請（光州市建築士会との交流）が本部より否認された。
 - ・民法（債券関係）改正に伴う契約約款改正検討作業の中間報告について
- 3. 事業室報告
 - ・30周年記念誌発刊に伴う協会協賛金について
 - ・10月25日、福岡建築倶楽部役員会が行われ、CM協会九州支部の加入の是非について
- 4. 企画運営室報告
 - ・9月26日（水）に例会が開催された。11月20日（火）に会員集会予定
 - ・福岡市都市景観賞各賞は決定し、展示準備、撤去等の手伝依頼
 - ・福岡設計3団体による「3会合同シンポジウム」について
- 5. 福岡地域会忘年会(11/21)の件



11月10日定例会風景

建築相談室

建築相談室では事務局と市役所にて月3回建築相談を受け付けています。8月から11月は下記の相談対応を行いました。

- 8月21日 家の嵩上げ・レンガ積み外壁の新設について（担当：川津・水野）
 - 8月23日 既存不適格建築物に対する施工状況報告書について（担当：高司、有吉）
 - 11月20日（市1件目）建築条件付き土地を購入したが土地形状がいびつである。施工業者作成の設計図に関する設計相談
 - 11月20日（市2件目）中古住宅を購入し、全面リノベーションを計画している。間取りの相談、屋内階段増設に関する基準法の相談（担当：酒見、武本）
- また9月27日、11月22日は相談員相互の事例の検証、相談回答の統一化を目的とした建築相談定例会を事務局にて行いました。定例会終了後は懇親を図るため、「お月見会」（9月）「建築相談室忘年会」（11月）を開催しました。相談会定例会には長年相談員を務められている経験豊富な
- 会員が参加されるため、若手相談員は相談対応などの助言をいただいで今後の相談活動に活かしていきたいと思えます。
- （9月相談会定例会参加者：加藤・高司・武本・樋口・川津・西村・有吉 計7名）（11月相談会定例会参加者：日比生・酒見・月形・川津・西村・有吉 計6名）（担当：有吉兼次）



11月忘年会風景

国際交流

韓国建築士会光州地域会が来福されました
 11月8日韓国光州より会長を含め5名の方が来福されました。福岡地域会からは、会長含む総勢6名でお出迎え致しました。その後、歓迎を含めて両国の建築界の話など情報交換を行い、今後の国際交流の意義も議論しました。来年は光州と福岡地域会の交流が始まって20年目にあたる事から光州では記念誌を作る予定もあり、どのような協力ができるかも議論され有意義な時間を過ごす事が出来ました。その後一行は翌日平戸へ視察に行かれ帰国されたとお聞きしています。



参加者 光州：会長含む5名／福岡：佐々木地域会長、川津九州支部長、田中前地域会長、田中地域副会長、福田地域副会長、村上地域副会長

9月28日 第26回福岡建築倶楽部ゴルフコンペ

第26回福岡建築倶楽部ゴルフコンペ結果報告

台風24号が次第に九州に近づく中、嵐の前とは思えない晴天の9月28日（金）に回を重ねて26回にもなる福岡建築倶楽部のゴルフコンペが行われました。コースは福岡雷山ゴルフクラブ。アウト8組、イン7組の計15組の参加はかなりの盛況。わがJIAは井上福男チーム、和田正樹チーム、市川清貴チームの3組でそれぞれに正会員・協会員でチームを作り、大熱戦となりました。結果は見事に井上福男会員が優勝、惜しくもチーム優勝は逃しましたが、それでも協会の（株）メタルテック近藤社長がしぶとく敢闘賞と伝統の地位を守り切る大健闘でした。（担当：市川清貴）



左上：優勝の喜びを語る井上会員／他：表彰式風景

8月6日 協会主催「納涼懇親ボーリング大会」

8月10日博多スターレーンにて夏の恒例イベントとなりました「協会主催納涼懇親ボーリング大会」が開催されました。会員6名会員事務所スタッフ16名協会員63名合計85名が参加しました。佐々木会長の始球式のあと、2ゲーム合計で個人戦とチーム戦を行いました。

個人優勝：南嶋啓介（㈱太陽設計 スコア：320（2ゲーム合計）
チーム優勝：74レーン（南嶋啓介、金城努、西原俊介、山口琢也）

トータルスコア：1,094、アベレージ：274

大会終了後は地下の中華料理店「東海苑」にて表彰式と記念品贈呈が行われました。（担当：協会会長 西井博文）



福岡地域会 歴代地域会長座談会

■日時：9月22日 18時00分～

■場所：いそぎ

9月22日土曜日に九州支部30周年記念誌へ掲載を予定している歴代地域会会長の座談会を行いました。12名の歴代会長が「いそぎ」あつまり、いままでの活動や未来の福岡地域会を語りあい、盛大な座談会となりました。詳しい内容は支部30周年記念誌をご覧ください。（担当：佐々木寿久）



歴代会長地域会長 集合写真

前列右から 西岡 弘 月形 勲 栗山政雄 井上福男 水野 宏

後列右から 松山将勝 川津悠嗣 田島正陽 市川清貴 佐々木寿久
角銅 剛太 和田正樹



8月公開例会「場所の云うことを聞く」

講師:建築家 浅石 優氏

■日時：8月23日金曜日

■場所：福岡市動物園／アイカ工業福岡支店

「福岡市動物園エントランス複合施設」完成にあたって、設計者である、浅石優氏をお招きして例会を行った。I部は浅石氏説明のもと施設見学を行い、敷地に建物を配置することで、2つの開かれた広場を造る浅石氏の設計手法、細部まで吟味されたディテール等見どころが多く、見学者からも多くの質問が浅石氏に投げかけられ、活気ある見学会となった。

II部は場所を移して、「場所の云うことを聞く」というテーマで、浅石氏の学生時代から現在に至るまでの多くの建築事例をスライドで見ながら講演が行われた。住宅から都市計画まで多様なスケールでお話し頂き、建築に対する浅石氏の思想が浮かび上がる有意義な例会となった。

参加人数・見学会 33名・講演会 37名・懇親会 20名
(担当：福田哲也)



福岡市動物園にて作品を解説する浅石氏



8月例会会場風景(アイカ工業)

9月公開例会「人の事務所で話して飲んでみる」

■日時：9月26日火曜日18時30分例会開始

20時00分同一会場にて懇親会

■場所：アーキタンツ福岡

「考えてみると普段、他の設計事務所に行く機会は少ない。人の事務所はどのような場所でのどのようなレイアウトで、どのような雰囲気なんだろうか。なんなら家賃とか・・・。」ということで、9月例会は会員の事務所を開放して行われた。普段打ち合わせや模型製作が行われているスペースで、Cassina ixc.による海外の設計事務所事例の報告会、キャプテンダストリーによるオフィス照明のプレゼン、アトリエサンカクスケールの村上明生氏による新事務所移転の経緯や事務所と地域の関わりについての講演が行われた。その後もそのまま懇親会が行われ、会員同士、会員と協力会員、スタッフ同士の情報交換が活発に行われた。参加人数 33名
(担当：福田哲也)



9月例会アーキタンツ福岡 会場風景



地域会長の活動報告



左:協力会の照明プレゼン風景/右:自身の事務所移転を語る村上会員

11月例会「秋の会員集会」

■日時：11月20日火曜日 18時00分例会開始

■場所：天神ビル11階6号会議室

■参加人数：12名

2018年度佐々木地域会長体制の前期の活動報告と今後の地域会活動についての会員同士の意見交換が行われた。活動報告では、HPリニューアルや例会、光州との国際交流、都市景観賞展示、各委員会活動等の報告を行い、その後の意見交換では、今後の国際交流の在り方、各委員会活動の見直し、JIAの魅力、意義についてまで、各会員からざっくばらんに様々な意見が出た。意見を受けて佐々木地域会長から、参考にしながら後期もしっかりと、会員サービスの充実と広報の強化、という今年度の指針を押し進めていく表明がなされた。例年に比べ参加人数が少なく、平日ではなく土曜の方が集まりやすいのではとの声もあり、次回の会員集会の日程は再検討が必要であるが、一人一人の意見がしっかり聞けて活発な意見交換の場になった。(担当：福田哲也)



11月会員集会の会場風景

9月13日-15日 JIA建築家大会2018東京

9月13日から15日まで、アルカジア大会と同時開催されたJIA建築家大会2018東京に福岡地域会より30名が参加いたしました。メイン会場は明治大学で初日、2日目はアルカジア大会と合同開催のため、例年の全国大会とは異なった国際色にあふれた雰囲気でした。今回の大会テーマは「素なることと多様な相」で藤本壮介氏と野老朝雄氏の「Simplicity | Multiplicity」メインシンポジウムに参加してきました。シンプルと複雑さ、単や群、調和と対比、個と社会などをキーワードに両氏が手がけられているプロジェクトを紹介され、対談では建築を文化としてとらえるパリと建築を機能主義重視で未来へのワクワク感が少ない日本を対称的に捉えた内容は興味深く、日本での将来の建築家の存在意義を一考する内容でした。またアルカジア大会では、同時通訳で海外の建築家の基調講演も聞くことができ、海外の建築手法など知見を広げると同時にスカイツリーや東京駅など日本の最新技術・

施工手法を改めて学べる貴重な経験となりました。レセプション会場の六本木ヒルズでは建築の日本展がJIA建築家大会のため延長開催されており、多彩多数な建築模型、資料に圧倒され日本の建築の変遷を学ぶことができました。建築関係者以外の多くの一般観覧者が来場され、市民は建築に期待していると感じます。ランドハイアット東京で行なわれたレセプションは盛り上がり、その後の九州ナイトでも会員親睦が深まりました。最終日は九州支部役員会や地域会会長会議などが行われ充実した3日間となりました。来年は青森弘前大会です。弘前は東日本大震災の被害は比較的少なかった地域ですが震災以来初めての東北支部での建築家大会です。多くの会員のみなさまに足を運んでいただいたら東北全体の応援になると思います。

(担当：有吉兼次)



メインシンポジウム風景



レセプションで挨拶される六角会長



第4回 支部役員会風景



九州ナイトで地域会長が勢揃い

福岡市都市景観賞

第28回福岡市都市景観賞応募に多数のご協力をいただきありがとうございました。全部門合わせて800件を超える応募をいただきました。市民投票による一次審査を終え、各分野の専門委員による厳正な選考を行い、福岡市都市景観賞の『大賞』『部門賞』を決定しました。また、市民の投票によって決まる「市民賞」に決定しました。

大賞 西南学院大学図書館

1. ランドスケープ部門 西日本シティ銀行ココロガーデン
2. 建築部門 森のおうち保育園
3. 広告部門 We Base 博多
4. 活動部門 きんしゃい きゃんぱす

<市民賞> 平尾保育園

表彰式日時：平成30年12月2日(日曜日) 14:00～17:00まで
会場 あじびホール(福岡アジア美術館8階)

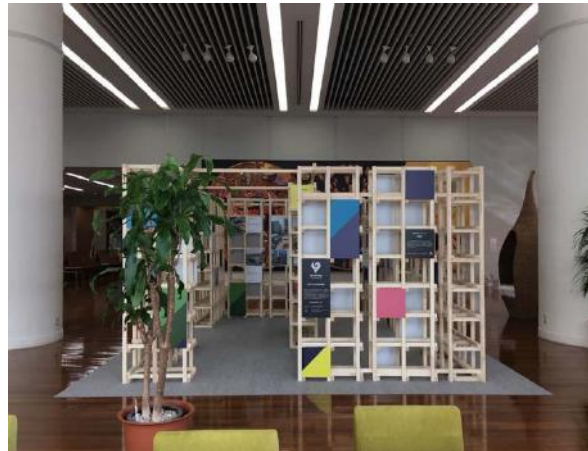
☆建築家・早稲田大学教授の吉村靖孝氏による基調講演も行います。

展覧会 期間 平成30年12月2日(日曜日)～12月11日(火曜日)
※12月5日(水曜日)は休館日

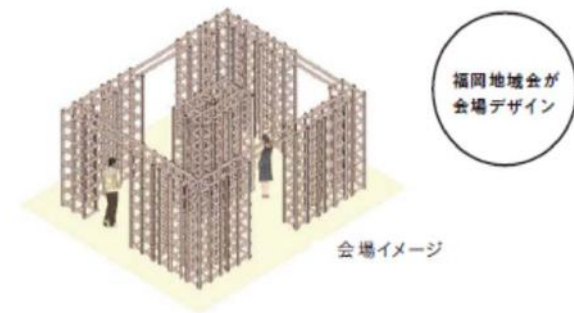
会場：アートカフェ(福岡アジア美術館7階)

JIA福岡地域会は2014年度より福岡市都市景観賞の運営JVの一員として会場デザイン等の活動しております。

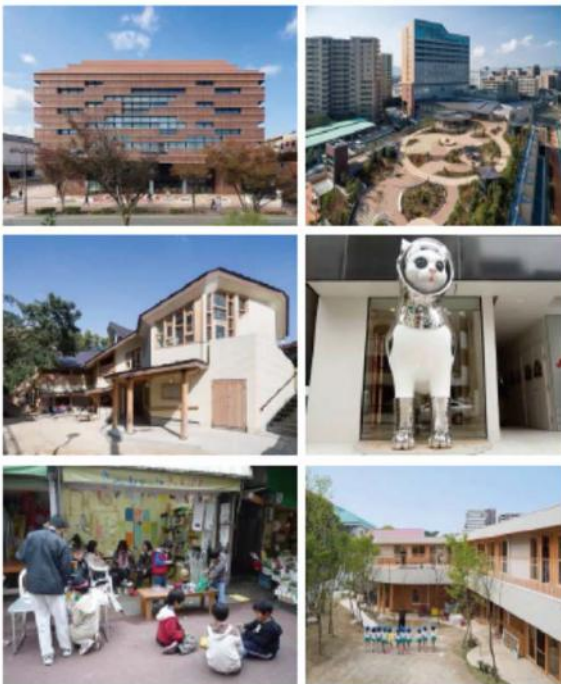
(担当：山澤 宣勝、佐々木寿久)



展覧会場風景



会場イメージ



都市景観賞受賞作品



展覧会場風景



吉村靖孝氏による基調講演

福岡県弁護士会館 現場見学会

■日時：8月25日 土曜日

■場所：福岡県弁護士会館 現場

■参加人数：42名

8月25日（土）17時より福岡県弁護士会館現場見学会が行われました。2015年に行われましたプロポーザルにより北福岡地域会の古森弘一氏が30案の中から一次審査、公開ヒヤリング、2次審査を経て選定されました。当プロポーザルは福岡県弁護士会からJIA九州支部に監修コンサルティングを委託されている事業です。見学会当日は設計者の古森氏をはじめ、施工業者の奥村組さん、左官職人の大前氏、外壁ステンレスの東洋ステンレス研磨さん、カーテンウォールの建鋼社さんも参加していただき、素材の説明、施工の見どころ、現場での苦労話をお話いただきました。大会議室やホールは開放的な鉄骨大空間で圧倒され、現場での数多くの試作品やディテールの検討で丁寧な設計、施工をされていると感じました。施工中にもかかわらず九州各所より42名が見学会に参加させていただきました。関係者の皆様には大変お世話になりありがとうございました。



完成イメージ



概要を説明される古森弘一氏



左官手法を解説される大前氏



ロングキャンチで大空間な2F大会議室



カーテンウォール施工中の1Fホール

デザインレビュー（支部事業）

「デザインレビュー」は、全国各地の大学、大学院、専門、高専などで建築を学ぶ学生達の意欲的作品の講評を通して、現代建築や都市環境を取り巻く諸問題を議論し、デザインの可能性とリアリティについて、広く意見を交換する場を提供する活動です。この企画を通じて、各地の大学をはじめとした建築教育の現場、公共や民間の建築関係者、および建築・都市に関心のある多方面の方々を結びつけ、建築批評全体の質が向上することを期待し、現代の建築・都市デザインに対するの刺激となる事を目指しています。今回で24回目の開催を迎え、有志の学生による実行委員会を中心に活気ある場となるよう取り組んでいます。JIAとしては、日々の会議に出席し、当日の運営はもちろん、開催に至るまで、社会人としてのサポートを行います。現在は、開催に向けて、学生実行委員会のメンバーが奮闘しているところです。今回は、2019年3月8日（金）、9日（土）の2日間、会場はぐりんぐりんにて開催予定です。このレビューは、企業、個人など多くの皆様方のご協力の上に成り立っております。この九州の地で始まった活動を大切に、そして誇りあるものとして実行していけるよう、今後とも皆様のご協力ご支援のほどをどうぞよろしくお願い致します。

（担当：池浦順一郎）

事業室 活動報告

行政連絡（HPに資料を掲載しております）

○8月21日に福岡建築行政研究会、第13回定例会議に出席し、資料をメールにて配信しました。

- ・29年度の事業報告、決算報告、30年度の事業計画、予算について・民有地緑化助成事業について
- ・基準法の改正（準防火地域のケンペイ率緩和措置、木造建築に係る制限の合理化等）
- ・緩衝帯を有する接合部の評価（消防より）※地下街の接合部等

○10月15日 県の福岡県建築確認円滑化対策協議会総会に出席し、資料をメール配信とホームページに掲載しています。

（担当：福田哲也）

福岡地域会役員会（第7回）

■日時：平成31年1月19日土曜日18：00-20：00

■参加人数：11名

■報告事項

審議事項

1. 入退会について

協議事項

1. 九州支部大会の補助金の件
2. 都市景観賞の協力者への分配金の件
3. リフレッシュセミナーの参加者
(テーマ：建築の進化と拡張)
4. 支部ホームページのコンテンツの件：近畿・東海と合わせる
5. 来年度九州支部事業計画（案）について
6. 2019年度福岡地域会事業計画（案）について
7. その他

報告事項

1. 会長報告
2. 九州支部長報告
3. 事業室報告：福岡建築倶楽部新年の集い出席確認
4. 企画運営室報告

福岡地域会役員会（第8回）

■日時：平成31年3月9日土曜日18：00-20：00

■参加人数：6名

■報告事項

審議事項

1. 入退会について
2. 都市景観賞の分配金の件
3. 2019年度福岡地域会収支予算書（案）について
4. その他

協議事項

1. 事務局、空調機交換の件
2. 30周年記念誌、協力会記載事項の確認
3. その他

報告事項

1. 会長報告
2. 九州支部長報告
3. 事業室報告
4. 企画運営室報告



建築相談室

福岡地域会建築相談室では月3回(1回は福岡市役所にて)の建築相談を受けております。1月から3月にかけて2件の市民から相談に対応しております。1件は住宅を増改築してクリニックに用途変更を行う際の基準法及び構造についての相談、2件目はワンルームマンションリフォーム工事の仕上程度についての相談です。いずれも相談員2名で対応し、現状の問題点の整理及び把握や経験に基づいた解決策及び相談先、今後の進め方などを助言しております。2018年度は10件の相談に対応いたしました。瑕疵担保制度の普及や他団体の相談体制整備などにより、過去に比べて相談件数は減少傾向ですが、来年度も引き続き、市民に向けて安心できる質の高い建築相談を行なっていききたいと思います。また建築相談室では年4回相談事例の検証、相談対応方法の共有化を目的に定例会を行っております。

下記写真は3月14日 相談室定例会風景

(酒見会員、上塘会員、永田会員、樋口会員、有吉会員)



第21回 福岡県建築倶楽部 新年の集い準備会

■日時：1月16日

■場所：福岡建設会館 303号会議室

新年の集いの準備会で、福岡建設会館へ集まりました。新たに「一般社団法人日本コンストラクション・マネジメント協会九州支部」様が建築倶楽部への入会を承認された。

第21回 福岡建築倶楽部 新年の集い

■日時：1月25日

■場所：ANAクラウンホテルプラザ

1月25日ANAクラウンプラザホテル福岡「クラウンランドボールルーム」にて「第21回福岡建築倶楽部 新年の集い」が開催されました。今回から「一般社団法人日本コンストラクション・マネジメント協会九州支部」様も加入され、8団体での開催になった。平成の時代はまさに災害の時代だった為、8団体団結し、それぞれの特徴を活かし方向を揃えていくことを表明しました。協力会、賛助会も数多く参加されており、福岡建築倶楽部の重要性を感じました。



1月例会

■タイトル：「自作も、語る」

■講演者：建築家 川津 悠嗣 氏

■日時：平成31年1月24日木曜日18：30～20：00

■場所：アイカ工業福岡支店

■例会参加人数：42名

■懇親会参加人数：15名

1月例会は、九州支部長の川津悠嗣氏による、自身のJIAでの活動と建築自作を時系列でリンクさせながらのお話で、川津氏の建築家としての人物像がよく分かる興味深い講演だった。その後の懇親会では、会員同士引き続きの意見交換、協力会会員からも、改めてJIAの話が聞けて良かったなどの感想を頂き、活気のある新年最初の例会になった。



2月例会

■タイトル：「建築を、ひらく」+対談

■講演者：建築家 西田 司 氏・対 談：建築家 松山 将勝 氏

■日時：平成31年2月19日火曜日18：00～20：00

■場所：FAIRBANKS (フェアバンクス)

■例会参加人数：65名

■懇親会参加人数：30名

2月例会は、オンデザインの西田司氏に登壇頂き、前半は自身の様々なスケールの建築活動を足早にお話頂いた。後半に松山将勝氏とオンデザインスタッフの森氏も登壇頂いて、松山氏からの質問形式で進められた対談では、西田氏の建築との向き合い方、オンデザインとの向き合い方がざっくりと語られ、森氏が話をする事でよりリアルに、立体的な対談が行われたように感じた。最後には西田氏の提案で、ネットからのアクセスによる質疑応答が行われた。会場からの質問がスクリーンに映しだされ、その質問に答えていくというもので、皆が質問しやすい非常に良い質疑応答のやり方であった。



福岡県弁護士会館 落成式

- 日時：3月5日
- 場所：弁護士会館

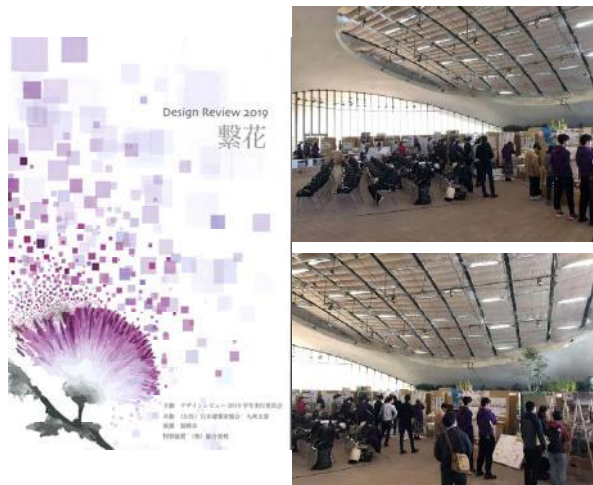
JIA九州支部がプロポーザルの支援から完成までをサポート業務を行った、「福岡県弁護士会館」が落成式を迎えた。北福岡会の古森弘一建築設計事務所による設計。



デザインレビュー

- 日時：3月8日、9日
- 場所：ぐりんぐりん（アイランドシティ中央公園）

デザインレビューでは、毎年建築の諸分野で活躍されている方々をクリティークとしてお招きし、出展者に対し、1対1で設計作品について講評を受ける機会を設けており、今年度で24回目の開催となります。大会の運営は九州の各大学で建築を学ぶ学生から毎年有志を募り行っており、本年度も多くの実行委員が集まった。



建築塾

- 日時：3月15日、16日
- 場所：壱岐

福岡には、福岡10、佐賀8、長崎72、熊本19、大分8、宮崎3、鹿児島31、計151の有人離島が存在します。長崎県は全国47都道府県の中で最も離島が多い県となっています。これらの島々は、大きな暖流が分岐する対馬海流と日本海流（黒潮）とで繋がっており、「海流と海風」を共有しているという切り口から、その風土と建築・文化について考える塾とする。今回は13名の参加となった。

[建築塾課題内容より一部引用](#)



福岡地域会パネル「相島」について

地震時等における被災建築物応急危険度判定に関する協定書の締結式開催

主催者：佐賀県
 日時：1月17日 木曜日
 場所：佐賀県庁
 参加団体：佐賀県、佐賀県建築士会、佐賀県建築士事務所協会、JIA九州支部佐賀地域会

佐賀県では、この地震時等における被災建築物応急危険度判定に関する協定書を3会（JIA、建築士会、建築士事務所協会）と協定することになりました。前回の熊本地震において、連絡、指示系統がばらばらになっていて、現場が混乱していました。他県ではすでに取り組み完了という所もありますが、佐賀県ではやっと取り組みを開始いたします。これからは災害時に迅速な連絡、行動ができることを期待しています。

下記以降は協定書の抜粋です。

1. 協定内容

対象・効果

【対策】

- 県内建築関連団体との協定締結

<協定先の選定理由>

- 佐賀県内の民間判定士の大部分がいずれかの会員であるため

【期待される効果】

- 民間判定士への連絡調整を関連団体が直接行うことで、判定士の派遣及び判定活動の迅速化に繋がる
- 災害時に電話等の通信が困難な状況における実地性制等の準備することができる
- 県内で被災した場合、県内各地区に支部があるため、非被災地区を本部とした民間判定士の派遣、調整が可能

3

1. 協定内容

(2) 内容

<協定内容>

災害が発生し、民間判定士を派遣する必要がある場合、県内建築関連団体に対し協力を求める際の

①協力要請内容 ②判定士名簿及び連絡網の共有 ③連絡担当者 ④補償などについて、予め双方で合意しておく

4

※部外秘※

地震時等における被災建築物応急危険度判定に関する協定書

【打ち合わせの目的】

- ① 協定内容について、協定先の合意を得る
- ② 締結式参加について、出席者の理解を得る

平成30年8月23日
 県土整備部 建築住宅課

1. 協定内容

(3) 協定締結先

- ・(一社)佐賀県建築士会
- ・(一社)佐賀県建築士事務所協会
- ・(公社)日本建築家協会佐賀地域会

5

1. 協定内容

1. 協定内容

(1) 背景

現状・課題

- 地震時の応急危険度判定においては、被災地が県内外に問わず、被害が大きい場合は、行政職員判定士だけでなく民間判定士の派遣が不可欠であり、熊本地震においても、多くの民間判定士が活躍した
- これを受け、佐賀県建築士会から、県内外で地震が起きた場合に備え、県と協定締結について提案があった
- 速やかに民間判定士を活用した判定活動を開始するためには、民間判定士との連絡調整について関係団体の協力を得ることが必要
- 県内の応急危険度判定士は、佐賀県被災建築物応急危険度判定士登録要綱に基づき311名が登録されている。(行政職員判定士104名、民間判定士207名)

2

1. 協定内容

(4) 災害時の体系図

県内で地震発生
 被災した市町村の被災建築物応急危険度判定本部
 要請 → 派遣 → 被災建築物応急危険度判定支援本部 (佐賀県(建築住宅課))

県外で地震発生
 被災した都道府県の被災建築物応急危険度判定支援本部
 要請 → 派遣 → 九州ブロック幹事県

【今回の協定書の内容】

- ◎協力要請
- ◎判定士名簿の共有
- ◎協定可能判定士の情報提供
- ◎研修開催
- ◎協定可能判定士の人数割当

民間判定士 民間判定士 民間判定士

6

地震時における被災建築物応急危険度判定に関する協定書の締結式開催

主催者：佐賀県
 日時：1月17日 木曜日
 場所：佐賀県庁
 参加団体：佐賀県、佐賀県建築士会、佐賀県建築士事務所協会、JIA九州支部佐賀地域会

佐賀県では、この度地震時における被災建築物応急危険度判定に関する協定書を3会（JIA、建築士会、建築士事務所協会）と協定を行いました。前回の熊本地震において、連絡、指示系統がばらばらになっていて、現場が混乱していました。他県ではすでに取り組み完了という所もありますが、佐賀県ではやっと取り組みを開始いたします。これからは災害時に迅速な連絡、行動ができると期待します。



地震時の被災建築物危険度判定で協定
 佐賀県と建築士関係の3団体が17日、地震時の被災建築物の応急危険度判定に関する協定を結んだ。住宅

など多くの建物が被災する大規模地震が県内外で発生した場合に、佐賀県の要請を受けて団体に所属する応急危険度判定士が被災地で活動する態勢を整えた。写真
 応急危険度判定士は、地震の被災地で建築物を調査し、余震による倒壊の危険性などを判定して二次災害を防止する。県内では行政関係者約100人と民間の建築士約200人が登録している。2016年4月の熊本地震では佐賀県から延べ152人が被災地に派遣されたが、民間側への要請に手間取ったことを考慮し、活動を早く円滑に進めたい。(山本礼史)

よつと協定を結んだ。県庁で開かれた協定締結式には県建築士会、県建築士事務所協会、日本建築家協会九州支部佐賀地域会の各代表者が出席した。副島良彦副知事は「プロの目で建築物を見て住民に危険を知らせるのは重要。判定は被災者にとって復旧の目安にもなり、協定を心強く思う」と謝辞を述べた。

県建築士会の犬塚敏治会長は「阪神大震災や東日本大震災などを通じて、地震に対する心構えの必要性を実感した。要請があった時にすぐに動けるようにみんなが対応していきたい」と話した。

平成31年1月18日 佐賀新聞掲載

下記以降は協定書の抜粋です。

外部秘鑑

地震時における被災建築物応急危険度判定等に関する協定書

【打ち合わせの目的】

- ① 協定内容について、協定先の合意を得る
- ② 締結式参加について、出席者の了解を得る

平成30年8月23日
 県土整備部 建築住宅課

1. 協定内容

1. 協定内容

(1) 背景

現状・課題

- 地震時の応急危険度判定においては、被災地が県内外に係わらず、被害が大きい場合は、行政職員判定士だけでなく民間判定士の派遣が不可欠であり、熊本地震時においても、多くの民間判定士が活躍した
- これを受け、佐賀県建築士会から、県内外で地震が起きた場合に備え、県と協定締結について提案があった
- 速やかに民間判定士を活用した判定活動を開始するためには、民間判定士との連絡調整について関係団体の協力を得ることが必要
- 県内の応急危険度判定士は、佐賀県被災建築物応急危険度判定士登録要綱に基づき311名が登録されている。(行政職員判定士104名、民間判定士207名)

2

1. 協定内容

対策・効果

【対策】

- 県内建築関連団体との協定締結

<協定先の選定理由>

- 佐賀県内の民間判定士の大部分がいずれかの会員であるため

【期待される効果】

- 民間判定士への連絡調整を関連団体が直接行うことで、判定士の派遣及び判定活動の迅速化に繋がる
- 災害時に電話等の通信が困難な状況における実施体制等の準備することができる
- 県内で被災した場合、県内各地区に支部があるため、非被災地区を本部とした民間判定士の派遣、調整が可能

3

1. 協定内容

(2) 内容

<協定内容>

災害が発生し、民間判定士を派遣する必要がある場合、県内建築関連団体に対し協力を求める際の

①協力要請内容 ②判定士名簿及び連絡網の共有 ③連絡担当者 ④補償などについて、予め双方で合意しておく

4

「杵岐の建築と集落」見学会

開催地: 杵岐

日時: 11月3日・4日

目的: 杵岐在住会員との交流・杵岐の建築文化を知る

参加人数: 定例会7名 懇親会7名

杵岐には、松本隆之会員がいます。来年3月開催予定の九州支部建築塾の担当が長崎地域会という事で、開催地を杵岐に決定いたしました。事前に杵岐の建築とまち並み・文化や風土に触れ、建築塾の開催場所や宿泊先など事前に長崎地域会の会員相互の共有化・協力意識を高めるために開催しました。

■松本隆之会員の作品の見学

・郷ノ浦サービス拠点施設、杵岐市消防本部、特別養護老人ホーム(木造建築約5,500㎡)

■勝本浦町並み散策

勝本浦朝市、勝本浦の集落を歩いた。

■宿泊先は、築100数年の木造3階建の旧旅館をそのまま活かしてリニューアルした、ゲストハウスLAMP杵岐

■260基の古墳が杵岐に存在

杵岐最大の古墳である鬼の窟古墳の見学

■建築塾テーマ予定地、宿泊施設の見学

□とても魅力的でエキサイティングな研修会となりました。



■ Coming Soon 「市民公開セミナー 建築家セミナー」開催

「建築と環境と人間」 講師: 小堀哲夫 氏

日時: 2019年1月24日 木曜日 場所: 長崎市・メルカ築町5階ホール

今回の公開セミナーは、2017年に「日本建築学会賞」「JIA日本建築大賞」という国内二大建築賞を史上初めて同年中にダブル受賞した小堀哲夫建築設計事務所 建築家で法政大学兼任講師の小堀哲夫氏をお招きして「環境が人間を独創的にする」とは?

どう云う事か、、、今からセミナーの開催が待ち遠しいですね。

長崎地域会役員会(第4回/持ち出し役員会)

日時: 平成30年11月3日土曜日 13:00~15:00

参加人数: 7名

報告事項: 石山地域会会長退会について経緯説明・状況報告を行った。

■九州支部・本部状況報告

- ・本部理事会の協議内容・審議事項・他
- ・支部役員会の協議内容・審議事項、会員動向等について報告
- ・支部大会IN奄美について/大会内容の説明

■今後の事業について

- ・九州建築塾開催について
- 2019年3月13日~15日開催予定
- 杵岐での開催とテーマについて協議を行った
- 開催場所や塾生がテーマに沿って計画する具体的な場所や建物について
- ・市民講座開催について

長崎地域会第5回役員会・例会/忘年会

日時: 平成30年12月19日水曜日 18:00~18:40

参加人数: 19名(会員:12名 協力会員:7名(オブザーバー参加))

■九州支部・本部状況報告

- ・本部理事会の協議内容・審議事項・他
- ・支部役員会の協議内容・審議事項、会員動向等について報告
- ・支部大会IN奄美大会報告

■今後の事業について

- ・市民公開セミナー開催について
- 役割分担とエクスカージョンについて
- ・建築塾準備進捗状況について
- 塾生募集資料、サポーター参加依頼、宿泊先等
- 塾生以外で参加される会員の為のエクスカージョン等の準備

忘年会開催: 会員+協力会員 相互交流会

日時: 平成30年12月19日水曜日 19:00~21:00

参加人数: 22名(会員:12名 協力会員:10名(オブザーバー参加))

・恒例の忘年会を開催しました。協力会員からは、会社のPRができる機会の要望がありました。



市民公開セミナー「建築家セミナー」2019
「建築と環境と人間」

講師 小堀哲夫



■「市民公開セミナー」開催

開催地:長崎市 メルカ築町5階ホール(定員270名)
 日時:平成31年1月24日 木曜日
 目的: 杵岐在住会員との交流・杵岐の建築文化を知る
 参加人数: 約150名(内会員14名、高校生、大学生約30名) 懇親会18名

今回の講演会は、ROKI Global Innovation Center—ROGIC にて国内二大建築賞・2017年建築学会賞、JIA建築大賞をダブル受賞された小堀哲夫氏をお招きし、「建築と環境と人間」と題してご講演いただきました。

働き方を建築の環境という切り口からアプローチし「環境が人間を独創的にする」と云った観点からコンセプトを組み立て、そこで働く人の「居場所」や「個々の交流」場の創造。或は、他者との交流の場としての空間創りとその運営など、建築がもたらす影響について「環境」のキーワードによる設計プロセスは、とても刺激的で有意義な講演会となりました。

発想の原点が生まれ故郷の自然風景や江戸時代の京都に遡るお話など、わたくし達にも身近な処からの独創的な発想も分かり易く、高校生や大学生の聴衆者にも好評でした。



●講演会の懇親会

日時:平成31年1月24日木曜日 19:30~21:00
 参加人数:18名

●小堀哲夫氏を交えて会員、法人協力会員との懇親会を行いました。



■役員会・例会

日時:平成31年2月18日 月曜日 19:00~20:00
 参加人数:会員9名 協力会員3社

●協議事項

- ①九州建築塾@長崎・杵岐について
 ・開催日程 2019年3月15日(金)16日(土)、17日
- ②九州支部・本部支部状況報告
- ③JIA長崎地域会総会について 4月5日(金曜日) ザ・ホテル長崎BWP
 17:00~18:00総会 18:15~20:00懇親会 (会費7,000円)

●4/20支部総会



■That is being held now. 「九州建築塾IN杵岐」

『海流でつながる九州の島々』

日時:平成31年3月15-17日 場所:杵岐市郷ノ浦
 塾生:13名 塾を支えるサポーター会員:9名 講師:2名
 九州の島々が海流:大きな暖流が分岐する対馬海流と日本海流(黒潮)とで繋がっており、「海流と海風」を共有しているという切り口から、その風土と建築・文化について考える。 それらを踏まえ、杵岐の島が直面する問題点を通して、街並みや建築・ランドスケープなどの具体的な提案を行う。

●各地域会より”島つながり”ポスターを作成し塾会場に展示



大分地域会 第7回例会（講演会）・忘年会

講師：角銅剛太氏（前九州支部長）

日時：平成30年12月18日 火曜日 17時30分～21時

場所：トキハ会館 4階 つばきの間

参加人数：講演会・忘年会 33名（内会員14名）

■講演会

『JIAの役割とは』 講師：角銅剛太氏（前九州支部長）

- ・これまでの角銅氏の生い立ちと出会いについて講義いただきました
- ・ご自身の作風と職能ついで悩み、次世代を担う子どもたちへの思いをご紹介いただきました
- ・「旅のすすめ」を拝聴しました
- ・JIAが職能団体として力を合わせて地域にアピールすべきとのことでした
- ・最後に若い建築家へのエールをいただきました



■忘年会

『JIAの役割とは』 講師：角銅剛太氏（前九州支部長）

小島前会長のご発声で乾杯しました

- ・支部大会の報告を行いました
- ・第5回 木造マイスターステップアップ事業の案内を行いました
- ・協力会員の皆様にご挨拶いただきました



平成30年度 木造マイスター

ステップアップ事業 <第5回>

主催：大分地域会 共催：(公社)大分県建築士会

後援：大分県、大分県木材協同組合連合会

日時：平成30年12月19日 水曜日 10時～17時

場所：株式会社玉井木材センター

参加人数：31名

■内容

◆1時限 9:30～12:30（参加者：17名）

- ・木構造の設計書について
- ・設計課題ワークショップ

講師：ミラクワパートナーシップ 有限会社 三浦逸朗

木材や木造・木質建築物の状況に関しての最新情報や今後の展望、大分県における取組み等を、三浦氏の視点でご説明頂いた。具体的には、木材を活用する上での注意点、コストに関する情報、木造の防耐火、中断面集成材、JAS材等に付いての基礎知識を教えていただいた。



◆2時限 13:30～15:45（参加者：31名）

- ・トラスマニュアル講習

講師：(一社) 中大規模木造プレカット技術協会

監事 藤田木造構法計画 代表 藤田 譲

- ・一般流通材を使用した低層非住宅木造の低コスト化とコスト比較

講師：(一社) 中大規模木造プレカット技術協会

理事 (株)マルダイ 顧問 功刀友輔

前半は藤田氏によるJISトラスについての講習をしていただいた。様々な形態のトラスがスパンや形状に応じて規格化されており、中大規模物件の設計をする際にこれまで鉄骨、RCで設計することが一般的だった物件にも木造で検討できる可能性があることを教えていただいた。

後半は功刀氏によるプレカット技術の利用に関して講習していただいた。コスト削減をするために流通材を利用することの重要性や、木造で設計するための支援ツールがwebに公開されていることを教えていただいた。

■平成30年度 木造マイスター
ステップアップ事業 <第6回>

主催：大分地域会 共催：(公社)大分県建築士会
後援：大分県、大分県木材協同組合連合会
日時：平成31年1月18日 金曜日 9:20～17:00
場所：J:COM ホルトホール大分 404会議室
参加人数：28名

◆内容

◇1時限 9:30～12:30 (参加者：25名)

- ・試設計報告について
講師：ミラカバ・パートナーシップ 有限会社 三浦逸朗
- ・評価と今後の防耐火について
講師：一級建築士事務所桜設計集団 安井昇

これまで過去5回実施してきた本事業を元に、三浦氏の進行で、非住宅分野の木材建築の試設計の検討を行った。また、安井氏から同分野に対する現状や今後についての留意点や展望など、様々なお話を頂いた。



◇2時限 13:00～14:30 (参加者：28名)

- ・2×4の現状と今後について
講師：(株)吉高総合設計 吉高久人

2×4工法を得意とされる吉高氏より、2×4工法の木造非住宅施設の防耐火仕様の現状や、今後の展望などを事例を交えながらご説明頂いた。



◇3時限 14:40～16:55 (参加者：23名)

- ・中大規模建築の木質化についての座談会
進行：ミラカバ・パートナーシップ 有限会社 三浦逸朗

全6回の本事業への取り組み、及び、現在の実務の実状等を踏まえ、中大規模建築の木質化に対する考え方を、参加者それぞれの視点から意見やコメントをお聞きした。併せて、今後取り組みたい課題についての要望もお聞きできた。

参加者は、これからの木質・木造についての情報収集や勉強を継続したいとの要望が多く、今後の取り組みに生かしていきたいと考えている。

■大分地域会 第8回例会

日時：平成31年1月22日 火曜日 19:00～20:00
場所：J:COM ホルトホール大分 410会議室
参加人数：26名 (内会員13名)

◆内容

- ・木造マイスターステップアップ事業終了の報告
- ・大分県木造住宅等推進協議会への入会検討
- ・来年度事業計画および予算計画の承認
- ・+A支援金他会計関係報告
- ・+A mini-labo、大分県建築士会リノベ塾、日本建築学会九州支部大会等の開催案内
- ・例会企画の希望者募集



■大分地域会 第9回例会

日時：平成31年2月12日 火曜日 19:00～20:00
場所：日建学院大分校 3階教室
参加人数：23名 (内会員13名)

◆内容

- ・支部関係報告
- ・九州建築塾 塾生再案内
- ・30周年記念誌について
- ・デザインレビュー、及び高校生レポーターの件
- ・竹宮会員+Aメンバーによる「大分建築カレンダー」企画中

■デザインレビュー/高校生レポーター

日時：平成31年3月9日 土曜日

◆内容

今年度のデザインレビューに、大分舞鶴高校 薬師寺菜加さん (+Aメンバー) が高校生レポーターとして参加させて頂いた。本人より「あっといふ間の1日で、非常に刺激的で勉強になった」とコメント。今回、大分からの参加者を、高校生レポーターとしてご承認頂いた九州支部 川津支部長をはじめ皆様にご感謝申し上げます。

第31回「クリスマスライティングパーティ」

日時：平成30年12月 7日 金曜日 18：30 - 20：30

会場：熊本市上通 同仁堂スタジオライブ

参加作品：36作品

毎年12月クリスマス時期に、会員及び会員外や学生も参加して「手づくり照明器具」作品を製作、出展、コンクールを「クリスマスライティングパーティ」として開催。本年もクリスマスのこの時期に、第31回「クリスマスライティングパーティ」を開催しました。九州支部奄美大会前日にもかかわらず川津支部長にも参加いただき、ピアノ演奏・独唱から始まり、立食歓談、作品発表、コンクールと会員内外やメセナとも楽しく交流しました。多くの賞は学生、会員外の方々が受賞されました。



(一会員作品)



第18回「JIA25年賞」を受賞

作品名：小国町民体育館「小国ドーム」（熊本県小国町

設計者：葉デザイン事務所

施工者：橋本建設

竣工年：1988年5月

JIAは「第18回JIA25年賞」を 5作品選定しました。

熊本地域会の推薦に基づき小国町の意向、現地確認は6月28日に役場・現地で、設計者（葉祥栄氏）の意向確認は7月13日に福岡糸島にて、担当3名（松下・内山・東大森）で行いました。JIA本部へ申請手続きを行い、「JIA25年選」として登録。防災上禁じられていた3,000㎡を超える木造体育館の建設には、着工するのに足かけ3年を要しました。現在も設計者への尊敬があること。大規模木造建築のパイオニアであり、現在、様々な地域の活動にほとんど毎日利用され地域の人達に「小国ドーム」として親しまれています。その後、11月13日には、JIA本部からの現地審査が行われ、12月16日「JIA25年賞」に「霞が関ビル」などとともに「小国ドーム」が選定され、受賞が決定しました。

第7回 熊本地域会例会（報告）

日時：平成30年11月22日 木曜日 18：30 - 21：00

会場：国際交流会館 第5会議室

参加者：12 / 14名（基本毎月、全員参加例会）

1. 開会挨拶

2. 報告事項

2-1 林田直樹氏 JIA本部理事会入会承認10 / 17

2-2 11 / 13（火）25年賞の現地審査 同行報告

2-3 九州支部第5回役員会10 / 27（土）等 報告

・本部理事に柴田真秀会員を推薦することを了承

・九州支部大会 in 奄美12 / 8（土）～9（日）

・JIA本部より「2019年度事業計画(案)予算(案)」作成要請

・九州支部30周年記念誌関係 熊本地域会名簿提出済

・九州設計3団体 セミナー・懇談会、懇親会 参加報告

3. 協議事項

3-1 第31回ライティングパーティ 12 / 7（金）の準備

3-2 全国大会参加や25年賞調査費用の負担額について

3-3 正会員及びジュニア会員入会希望者について

3-4 熊本地域会のジュニア会員規定について

秘伝披露ミニ講座 20：30～21：00

講師 古川 保会員「耐震補強の基本」

木造家屋における身近な材料を用いた簡便な耐震補強法の提案と耐震性能評価

(CPD認定講座5回終了のため例会時「ミニ講座」開催)

九州支部大会2018 in 奄美 12月8日（土）



公民館で手作り料理、奄美民謡と総踊りでの懇親会

地元の方々の「おもてなし」を受けました。

熊本地域会より5名参加しました。

今後の日程

・熊本地域会2019新年会例会

日時：1月24日（木）18：30～21：00

・九州支部2018第7回役員会

日時：2月 2日（土）14：30～

・H30第2回熊本地域型復興住宅推進協議会

日時：2月 5日（火）13：30～

・熊本地域会2018第8回（2月）例会

日時：2月28日（木）18：30～21：00



2018年度熊本地域会 第7回例会

日時：2019年 2月28日（木）18：30～20：00

会場：夢ホール熊本市市民会館 第8会議室

出席：13 / 14名（年8回開催）

- 内山龍夫 丹伊田穂 東大森裕子
- 吉武龍輝 松下隆太 柴田真秀 森下 修
- 梅田 彰 古川 保 上村清次 原田展幸
- 高井信彦 堀田 実 林田直樹

1. 開会 18：30～

- 1.-1 出席者確認、資料及び例会次第の確認
- 1.-2 開会の辞（高井）

2. 報告事項

- 2.-1 JIA25年建築選登録（小国ドーム）及びJIA25年賞の受賞について（松下）
- 2.-2 第31回ライティングパーティ 事業、決算報告（松下）
- 2.-3 熊本県地域型復興住宅推進会議 2/5（火）配布資料にて説明（梅田）
くまもと型復興住宅の取組み、次年度の取組み、熊本県より再建状況
- 2.-4 九州支部報告（東大森）
・第6回役員会 2/2（土）報告
- 2.-5 その他
・30周年記念誌 熊本地域会ページの確認（東大森）
・建築塾 I N 壱岐より 島の写真パネル用作成の依頼（堀田会員作成、送信済）

3. 協議事項

- 3.-1 2019年JIA九州建築塾 熊本地域会主管・開催について（高井）
・現在のJIA九州建築塾の課題の抽出・検討
・開催の方向だと 塾の新しい企画（建築塾のあり方など）
テーマ、企画、規模、対象、時期、運営、担当などの意見交換
（出席者全員より意見を聴く、主管開催することで決定）
- 3.-2 2018年度熊本地域会 事業報告、決算見込み（第3四半期分提出）（高井）
- 3.-3 2019年度熊本地域会 事業計画（案）、予算（案）（高井）
（例年通りの事業・予算案で予定）
- 3.-4 2019年度熊本地域会 役員・担当について
（本年は役員改選期ではないが、確認、追加及び変更）

4. その他

- ・熊本市役所建替え問題（耐震性等）について 市へ意見提言書を提出（古川）

ミニ講座 20：30～21：00

CPD認定講座5回で終了のため例会時の「ミニ講座」

講師 高井 信彦 会員

「建築裁判で訴えられたら？」

裁判所紛争解決手段として、下記、建築民事裁判及び建築民事調停の進行について

建築裁判：提訴、答弁、弁論、証拠、意見書、専門委員、鑑定、争点整理、付調停、現地進行、調停成立、和解勧告、和解案、和解拒否、裁判へ戻る、人証調べ、判決文、上級審

建築調停：申立、答弁、専門調停委員、話し合い、意見書、現地調停、事実認定、調停取下げ、調停に代わる決定、調停条項、異議申し立て、調停成立 / 不成立

専門家（建築士等）の関わり方や意見書、調査報告書作成と証拠採用等、裁判所の見かたは、また・・・

2019年 熊本地域会新年会

日時 2019年 1月24日（木）

18：30～ 報告、連絡 19：00～ 新年会

会場 肥後路（銀杏通り）

2019年度に向かって、熊本地域会会員の懇談会として開催、楽しく飲んで意見交換を行いました。

今後の日程

- ・2019熊本地域会 総会
日時：3月28日（木）18：30～
- ・2019九州支部 第1回役員会
日時：4月20日（土）12：30～
- ・2019九州支部 通常総会
日時：4月20日（土）14：00～

「建築セミナー2018」 2017年度JIA新人賞受賞者講演会

B2Architects 馬場兼信氏 / (株)近藤哲雄建築設計事務所 近藤哲雄氏
宮崎県設計3団体共催【JIA・宮崎県建築士会・宮崎県事務所協会】
日時：11月22日 木曜日 18：30～20：30
場所：宮崎市民プラザ4Fギャラリー2
参加人数：定61名

九州全体でも設計3団体での会議が開催されていることもあり、昨年度宮崎県設計3団体で集まり、協力して何かやっていたことになりました。それを踏まえ、今年度当初より3会からそれぞれ代表者を出し、何をやっていくか協議を重ね、JIA新人賞受賞者による講演会と3会メンバーのパネル展を行うことになりました。



当日は参加目標人数100名には達しませんでしたでしたが、参加された方々は両講師の建築に対する考え方に、一生懸命耳を傾けていました。来年度もこの企画を続けていきたいと考えておりますので、今年参加された方は来年もお越しください。今年参加できなかった派是非来年こそは足をお運びください。



2018年度 第2回 JIA宮崎地域会セミナー

日時：11月12日月曜日19：30～21：00
場所：宮崎ガス会議室
参加人数：25名

宮崎地域会では、定期的に会員以外の方々も対象に建築セミナーを開催しています。今回は2部構成とし、第1部では全国大会の報告。第2部では「リフォームへの取り組み」というタイトルで開催しました。



次回は2/18(月)を予定しております。会員の作品発表や、奄美で開催された支部大会の報告が行われる予定です。お楽しみに！

2018年度 JIA宮崎地域会 忘年会

日時：12月19日水曜日19：00～深夜
場所：炭焼き「あんばい」
参加人数：19名

今年も会員8名、協力会員11名で、楽しく忘年会が開催されました。仕事の話やどうでもいい話で、夜遅くまで懇親が続きました。



2018年度 第7回 JIA宮崎地域会例会

日時：1月21日月曜日19：00～21：00
 場所：宮崎市民プラザ
 参加人数：7名

報告事項

- ・延岡駅周辺整備P J内覧会
- ・建築セミナー決算報告

協議事項

- ・支部事業計画
- ・支部HP
- ・名誉会員等
- ・建築塾塾生募集
- ・次年度事業計画・予算案
- ・次回地域会セミナーに関して

サロンタイム

日経BP社 省エネNEXT編集長 小原隆氏を招いてのサロン



専門分野の省エネ及び中大規模木造建築分野に関して、会員との有意義なサロンタイムを開催することができました。

2018年度 第8回 JIA宮崎地域会例会

日時：2月18日月曜日18：30～19：00
 場所：宮崎ガスリビング
 参加人数：5名

審議事項

- ・小嶋健晴さん入会の意向

協議事項

- ・建築塾 塾生：ごとう計画設計 枝松氏応募
- ・30周年記念誌配布先に関して

2018年度 第3回 JIA宮崎地域会セミナー

日時：2月18日月曜日19：00～21：00
 場所：宮崎ガスリビング
 参加人数：11名

宮崎地域会では、定期的に会員以外の方々も対象に建築セミナーを開催しています。今回は会員の松竹昭彦による「マイペース設計人生のお仕事紹介」というタイトルのもと、設計に対する考え方、仕事の進め方、作品の紹介を行いました。また今年度開催された九州支部大会IN奄美の充実した内容の報告を行いました。なお協力会から、次年度改正される防火設備の説明会も実施しました。



「マイペース設計人生のお仕事紹介」
 松竹建築設計事務所 代表 松竹昭彦

2/18(月) 19：00～21：00 JIA 宮崎地域会セミナー

会場 株式会社宮崎ガスリビング
 宮崎市本郷北方 2485-20

Schedule

- 19：00～19：45 「マイペース設計人生のお仕事紹介」
 —松竹昭彦—
- 19：45～20：30 協力会からの告知
- 20：30～20：50 会員からの報告
- 20：50～21：00 small talk time

協力会からの告知

- 防火設備について
 キヨナガ
- その他

会員からの報告

- JIA九州支部大会
 IN奄美
 12/7(金)～12/9(日)
 報告
 越山明典・遠藤啓美

主催 公益社団法人 日本建築家協会 九州支部 宮崎地域会



2018年度 日韓交流 (KIRA全羅北道を訪問)

日時：平成30年10月28～30日 日～火曜日

場所：大韓民国 全羅北道 (全州市拠点)

参加人数：訪韓団 5名 (下山、岩田、奥平、木元、宇都)

■10月28日 (日)

韓国入り、扶余 (プヨ/旧百済の首都) に立ち寄り、百済文化団地にて世界遺産の史跡と博物館を見学。

■10月29日 (月)

「吉建築士事務所 (KIRA全北イ・ギルハン会長主宰)」訪問、益山市へ移動。「全羅北道科学教育院 (設計：吉建築士事務所、大統領賞受賞)」見学および院長訪問。世界遺産史跡「弥勒寺跡、石塔 (復元工事)」と資料館見学。日本とゆかりの深い当時の百済王朝に思いを馳せる。全州市へ移動。交流会議セミナー発表会：韓国側1名「サスティナブル建築について (イ・ギルハン会長)」、日本側2名「JIA鹿児島地域会の建築家ご紹介 (宇都)」・「阿久根いわしビルのリノベーションについて (木元)」



■10月30日 (火)

全州韓屋 (伝統建築保存地区) ～国立無形遺産院 (近代建築) 見学。全羅北道庁ご訪問、建設交通局長と接見、道庁内での建築文化祭展示作品見学 (日本側15作品を含む)。

全羅北道建築文化祭開会式参席、基調発表「熊本地震とJIAの活動について (下山)」、KIRA会長へ記念品授与。



完成現場見学会「風テラス阿久根」

設計：古谷誠章 + NASCA

日時：平成30年11月22日 木曜日 10:00-12:00

参加人数：18名

場所：鹿児島県阿久根市

講師：NASCAより八木佐千子 (代表) ・狩野広行 (担当)

全国より応募があり公開審査会を実施した話題のプロボ作品

予算削減により規模縮小しホール棟を先に完成。並行する図書館は2期工事となる。プロセニアムの無い左右非対称のホールは様々な仕掛けにより演目に合わせて変貌する。



九州支部大会 2018 in 奄美

日時：平成30年12月8-9日 土～日曜日

参加人数：59名 (内、会員52)

場所：奄美市笠利町須野公民館、他 (奄美大島各地)

■12月8日 (土)

「父母の家」(設計：松山将勝) 見学会

第6回九州支部役員会

九州支部大会 開会式・シンポジウム・レセプション

開会式は来賓4名：朝山毅様 (奄美市長)、鈴木弘二様 (JIA副会長)、建築士会・建築士事務所協会 (各奄美支部) より伊集院支部長・作山支部長を迎え盛大に行われました。

シンポジウム【九州の建築・奄美の建築】は各地域会+奄美+沖縄よりパネラーが登場し特色あふれる発表を行い、コーディネーターと審査員3名が加わり盛り上がりは最高潮に達しました。

レセプションは「奄美民謡&六調」と「奄美八月踊り」が特筆でした。総司会の山本華世さん、唄者の松山美枝子さん・平田まりなさん、須野集落の皆さん本当にありがとうございました。



エクスカーショントーク【奄美の自然と文化を体験するツアー】奄美の原生林「金作原」散策/郷土料理「ひさ倉」鶏飯の昼食/「大島細村」見学/「ハブに会いましょー」見学/「きよら海工房 (松山さん設計)」見学/奄美パーク「田中一村美術館」見学 ※記録は別途記録配信します

第4回 鹿児島地域会役員会

日時：平成30年12月11日 火曜日 18:30-20:00

参加人数：7名

場所：和総

■報告事項

個人協力会員：伊山智春氏 (鹿児島) 承認

KIRA全北との国際交流の報告 (10/28-30)

九州支部大会in奄美の報告 (12/8-9)

■協議事項

JIA鹿児島建築展2019日程と会場決定：

10/18-20 (金土日)、県民交流センター6階ギャラリー

新年合同例会1月15日 (火) ホテルマイステイズ天文館

18:00-例会、18:30-報告会 (KIRA交流・支部大会)、

19:00-講演会 (鯉坂教授)、19:30-懇親会

2019年度総会日程と会場決定

：4月16日 (火)、ホテルマイステイズ天文館を予約



1月度 合同例会（報告会・講演会・懇親会）

日時：平成31年1月15日火曜日

場所：ホテルマイステイズ鹿児島天文館

参加人数：34名（会員15+協力会14）

- 1月度 鹿児島地域会 例会
 - ・ 報告・協議／支部活動・地域会活動
- 地域会活動報告（宇都）
 - ・ 10/28-31【KIRA全北との日韓交流事業】
 - ・ 12/8-9【九州支部大会2018in奄美】
- 講演会【ミャンマー伝統建築視察報告】
 - ・ 1/11-15、ミャンマー特別見学会に参加（鹿大鯨坂教授）
- 懇親会（新年会）
 - ・ 司会/中山・代表挨拶/宇都・乾杯挨拶/石川・閉会挨拶/山崎



鹿児島大学建築学科後期設計課題講評会参加

日時：平成31年2月15日金曜日（12：30-）

場所：鹿児島大学建築学科棟2階01教室

参加人数：5名（下山、高崎、川島、加塩、宇都）

- ゲスト「富永譲/建築家」と共に設計課題の講評を行った



J I A 鹿児島会賞審査委員会 第一工業大学

日時：平成31年2月20日火曜日（午前）

場所：第一工業大学建築デザイン学科製図室

参加人数：6名（養田、西、中俣、下山、加塩、宇都）

- 山尾教授・李助教の案内で卒業設計を審査した



↑ 第一工業大学審査風景 ↓

銅賞：鮎川 瑞貴

「明日に向かって架ける橋～鹿児島の過去と未来をつなげる～」

J I A 鹿児島会賞審査委員会 鹿児島大学

日時：平成31年2月20日火曜日（午後）

場所：鹿児島大学建築学科製図室

参加人数：7名（養田、西、中俣、下山、岩田、加塩、宇都）

- 増留助教の案内で卒業設計を審査した



↑ 鹿児島大学審査風景 ↓

金賞「受け継がれる島の記憶」：森山 陽介

銀賞「湯けむり発電計画」：柴田 隆詠

銅賞「動物愛護園」：後藤 隆誠

銅賞「recollection scopes」：吉村 麻

鹿児島県立短大生活科学科卒業研究講評会参加

日時：平成31年3月5日火曜日（13：30-）

場所：Maruya gardens Art Gallery（マルヤガーデンズ5F）

参加人数：3名（藤崎、石川、岩田）

- 川島会員（県立短大教授）の案内で卒業研究の講評を行った



3月度例会

日時：平成31年3月12日火曜日（18：30-）

場所：サンエール鹿児島（小会議室）

参加人数：11名（高崎、上鶴、宮崎、中俣、石川、中山、藤崎、鯨坂、岩田、下山、宇都）

- 3月度 鹿児島地域会 例会
 - ・ 報告・協議／支部活動・地域会活動
 - ・ 2018報告（事業・決算）、2019総会計画（事業・予算・講演会）



2018年支部大会 IN 奄美

鹿児島地域会 下山道男

2年に1回開催される九州支部大会を鹿児島地域会が主幹で、12月7日(土)、8日(日)に奄美市で開催しました。式典の会場は奄美空港に程近い須野地区の公民館でした。この地区では祭りなどで集まり食事を出すとのことで、公民館の厨房設備は充実しており、今回の支部大会にも十分な広さでした。



本部からは鈴木副会長にお越しいただき、大会の挨拶とシンポジュームのコメンテーターとして登壇を頂きました。来賓の方々は、奄美市 朝山市長、鹿児島県建築士会 奄美支部伊集院支部長、鹿児島県建築士事務所協会 奄美支部作山支部長で、皆様には奄美の文化や建築についてお話を頂きました。

シンポジュームは各地域会の特徴的な建築の紹介をしてもらい、参加者で議論を行うものでした。映像を使い発表するものでしたが、発表者全員が持ち時間を過ぎても終わらず熱く語り続け、予定の時間は各自の発表のみで議論する時間もなくなりしてしまいました。自分の住む場所を愛しているのがJIAの会員であることの良く分かるシンポジュームとなりました。



懇親会では地区の方々に奄美の郷土料理を出していただきました。松山幹事長ご両親にも大会の準備など地区の方々と共にご協力を頂きました。

アトラクションでは「奄美民謡&六調」と「奄美八月踊り」が特筆でした。唄者の松山美枝子さん・平田まりなさんに奄美の民謡を披露していただき、懇親会のクライマックスは公民館の前庭に出て、須野の方々に手ほどきを受け参加者全員で「八月踊り」などを、小雨をものともせず輪になり参加者全員で踊りました。公民館室内からの光だけしか無い暗闇の中での祭の体験はなかなか味わえないものとなりました。



奄美の郷土料理と黒糖焼酎を奄美の民謡を聴きながら楽しみ、須野地区の方々と踊りを通しての交流が印象に残るもので、奄美の文化を知り楽しんだ大会となったと思います。

懇親会が終了し須野公民館からホテルまでは1時間バスで移動となりましたが、バスの中ではシンポジュームの第二部が行われ語り足りなかった会員が順次建築から人生まで幅広く発表や質問が飛び交い、名瀬のホテルへの移動はあっという間でした。



翌日のエクスカーションは、午前中金作原の原生林をガイドの説明を聴きながら散策し、昼食は奄美の郷土料理鶏飯をいただきました。世界遺産の登録を目指している原生林は、奄美でしか見ることのできない植物や鳥の鳴き声が私たちを迎えてくれました。泥染めで知られている大島紬の郷、サトウキビの加工場とレストランを併設した奄美きよら海工房、猛毒を持つハブの生態をユーモアを交えながら教えてくれる原ハブ屋、最後に訪れたのが奄美の風景を描いた田中一村の作品を展示している美術館。建築だけでなく奄美の自然に触れることができたエクスカーションでした。



奄美での開催は宿泊を伴うもので参加者には大きな時間と費用の負担をお掛けしましたが、大会には50名以上の会員の参加と奄美の建築関係の方々も参加して下さいました。また、支部大会の準備では奄美の会員や須野地区の方々大変お世話になりました。鹿児島地域会の会員も支部大会の受け入れでご苦勞をおかけしました。とりわけ松山さん、酒井さん、小野さんの3名の尽力無しでは開催できませんでした。



シンポジウムでは、パネラーの依頼を各地域会の代表は快く引き受けていただき、発表では会場を大変盛り上げてくれました。突然指名して鈴木副会長、三迫さん、田島さん、東大森さん4名に審査員をして頂きました。皆様の肝要さに感謝いたします。

これまでと趣の異なる奄美での支部大会は、関係者に感謝するとともに参加者の記憶に残る大会になったことを願います。



支部大会 参加者（須野公民館）



奄美の里での集合写真

BULLETIN Kyushu BRANCH



九州で活躍する建築家のための情報誌

**The Japan Institute of
Architects Kyushu branch**

公益社団法人 日本建築家協会九州支部

2018